

魚のからだのお話会

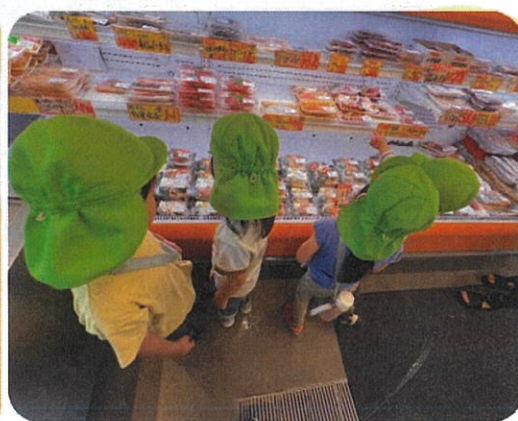
ねらい

- 魚のからだを通じて命をいただいていることを知る

活動内容

- 買ってきた魚の形から普段食べている形になるまでの過程を知る
- 魚のからだをみて命の大切さを学ぶ
- 買い物を通して地域の方との交流を楽しむ

子どもたちの様子



魚を捌くところを見る機会があまりない子もいて、真剣に見入っていました。捌いた魚と買ってきた魚を並べて見比べたり触れたりしました。丸々一匹の魚に触れて感触を確かめ「ぬめぬめしてるね」「おおきいね」と子ども同士で感想を言い合っていたり、恐る恐る...といった様子で人差し指で控えめに触れている子もいました。

2026.6 すくわくプログラム

魚のからだのお話会

活動スケジュール

- 6月23日(前日) 年長児と近隣の魚屋さんに買い出し
- 給食室と連携し、魚を捌くところを見る



振り返りをして気付いたこと

あまり魚を捌くところを見たことない子も多く、栄養士が捌いている様子を真剣な眼差しで見ている姿が印象的だった。
魚を捌くことを通して、日々食べている食事にも命あるものから頂いていることを子どもたちと一緒に改めて感じることができた。